



# アイライトフェア 2023

……大都市での視覚リハ、サポートを考える……  
～見えない、見えにくい人も安心して暮らし活躍するために～

主催： 認定NPO法人 神戸アイライト協会

後援： 中山視覚福祉財団、神戸市視覚障害者福祉協会、兵庫県網膜色素変性症協会、  
NEXT VISION、ホットポット KOUBE の会、兵庫視覚障害者の生活と権利を守る会、  
視覚障害者トータルサポート事業存続を求める当事者の会

- ◆日 時：2023年10月28日（土曜）13：30～16：00
- ◆場 所：中山記念会館1階 大会議室（神戸市兵庫区水木通2-1-9）
- ◆定 員：60名・参加無料（事前にご予約をお願いいたします）

◇講演「夢の変遷 トータルサポート事業物語」

森 一成（もり かずなり）

神戸アイライト協会 理事長

◇講演「仙台市の視覚障害者支援の歩み」

小林 禎（こばやし ただし）氏

仙台市障害者総合支援センター（ウェルポートせんだい） 主査

※当日 Zoom 配信はありません。後日に期間限定でネット公開予定です。

※神戸市社会福祉協議会の障害者福祉基金・フェスピック事業助成を活用させていただきます。

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により開催内容を変更する場合があります。

- ◆お申し込み・お問い合わせ先：神戸アイライト協会  
電話：078-531-6340（火曜から土曜 10時～16時）  
<https://eyelight.eek.jp>  
mail:kobe2010@eyelight.sakura.ne.jp





今年のアイライトフェアのテーマは「大都市での視覚リハ、サポートを考える～見えない、見えにくい人も安心して暮らし活躍するために～」です。私たちは移動、読み書きなど生活の大半を視覚情報に頼って暮らしているため、視覚を頼れなくなったら多くの人が途方に暮れてしまいます。

それを改善するのが視覚リハ（視覚リハビリテーション）です。視覚リハは見えにくさを改善する用具を使ったり、視覚以外の触覚や聴覚を使ったりして、移動や読み書きや日常生活の不便を改善する方法、取り組みです。その視覚リハを指導できるのは歩行訓練士等の専門家です。視覚リハを受けるためには歩行訓練士等の専門家を配置（雇用）した視覚リハ事業が必要です。また情報入手や移動に困難をかかえる視覚障がい者に、視覚リハの情報をできるだけ早く伝えるためには、視覚障がい専門の相談窓口でのサポート（支援）が有効です。

このような視覚専門の相談担当者を配置した視覚専門相談事業も京都や仙台といった大都市で実施されてきました。こうした100万人以上の大都市ではニーズも高く、眼科からの紹介パンフレット（スマートサイト）の重要な紹介先になっています。今回はこういった視覚専門相談・視覚リハ事業を実施してきた神戸と仙台の歩みを振り返ります。そして今後の大都市での視覚リハ、視覚障がい者サポートについて考えたいと思います。

（神戸アイライト協会 理事長 森 一成）



◆交通アクセス:

神戸高速鉄道「新開地駅」西改札より徒歩5分(1号出入口 階段)

市営地下鉄「湊川公園駅」西改札より徒歩10分(西出口2 階段・エレベータ)

